

議案審議

給食センターほほえみの炊飯器 (6,048万円) 可決

問 なぜ買い替えるのか。能力は。競争入札は行ったのか。災害時は利用できるのか。

答 教育総務課長 経年劣化がひどく修繕費が掛かっていた。3500食分の炊飯を1時間で炊き上げる事ができる。10社の指名競争入札を行った。

答 総務課長 災害時は備蓄品を利用し、日赤奉仕団、自主防災などでの炊き出しで行う。防災計画の中での利用は考えてない。



マイナンバー制度の導入 (補正予算870万円) 可決

問 当初予算と合わせて1993万円となる、マイナンバー制度の導入は町民に何のメリットがあるのか。

答 企画財政課長 社会保障の給付等でいろいろな添付書類がいらなくなりサービスの効率化が図れる。受給などで不正が防止され公平公正な行政運営が可能になる。

問 情報漏えいはどう防ぐのか。

答 企画財政課長 住民情報等のパソコンは、外部と接続してない。メールを受けるパソコンはシステム上も分離されている。



二つの意見書を審議

安保法案の廃案を求める意見書 (否決=賛成4、反対9)

(要旨) 安倍首相は、アメリカの起こす戦争に参加できることを可能にする法案を提出した。衆議院憲法審査会の参考人に招かれた、政府与党推薦、民主党推薦、維新の党推薦の3人の憲法学者はそろって『憲法違反』との見解を述べた。廃案にすることを強く求める。

国は地方自治体が行なう『医療費助成』を理由に減額措置しないことを求める意見書 (可決=全員賛成)

(要旨) 全国で、重度心身障害者、子ども、母子家庭等の経済的負担を軽減し、安心して医療が受けられるよう医療費の自己負担を補助する地方単独の医療費助成を実施している。国は、この医療費助成の取組に対して減額措置しているが、社会的に弱い立場にある人への支援や子育て環境づくりの取組を阻害するものであり、見直すよう強く要望する。

意見書の賛否	議員名													議案		
	山崎善弘	荘子敏一	川上力	佐々木ひろ子	渡辺忠夫	松岡高志	佐藤永子	高橋昭男	鈴木勉	福井和義	鈴木勝	堀越利雄	長谷川真也		吉田俊一	広沢文隆
件名	(自)	(新)	(公)	(公)	(自)	(自)	(自)	(自)	(無)	(無)	(町)	(町)	(町)	(共)	(共)	
安保法案の廃案を求める	議	○	●	●	病	●	●	●	○	●	●	●	●	○	○	否決
「医療費助成」を理由に減額措置しないことを求める	長	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

(○=賛成、●=反対) (会派名) 自=自民の会、町=町民クラブ、公=公明党、無=無所属クラブ、共=日本共産党、新=新自民クラブ